

<開催概要>

ふくしまの被災地のイメージは・・・？今も原子力発電所の廃炉作業は続き、除染廃棄物を運ぶトラックで道路は渋滞しています。日々多くの人たちによって復興作業は続き、新しい建物、新しい家、新しい光景が広がっています。その一方で、今も帰還困難区域となっている場所では10年前と同じ光景が広がっています。震災から10年、ふるさとに戻り生活を送る人たち、ふるさとを離れて暮らす人たちがいます。富岡町、大熊町、双葉町、浪江町をめぐる、10年前と現在の風景、そして双葉郡で活動している先駆者のインタビューも交えて、ふくしまの「今」を伝えます。



2020年12月12日(土)
14:00 スタート!!!
16時終了予定

当日はゲスト4人が会場で
トークセッションを行います

start

富岡町
Tomioka



平山勉さん(富岡町・
双葉郡全体)
富岡インサイド
相双ボランティア
双葉郡未来会議
ふたばいんふお

大熊町
Okuma



青木淑子さん(富岡町)
富岡町3.11を語る会

双葉町
Futaba



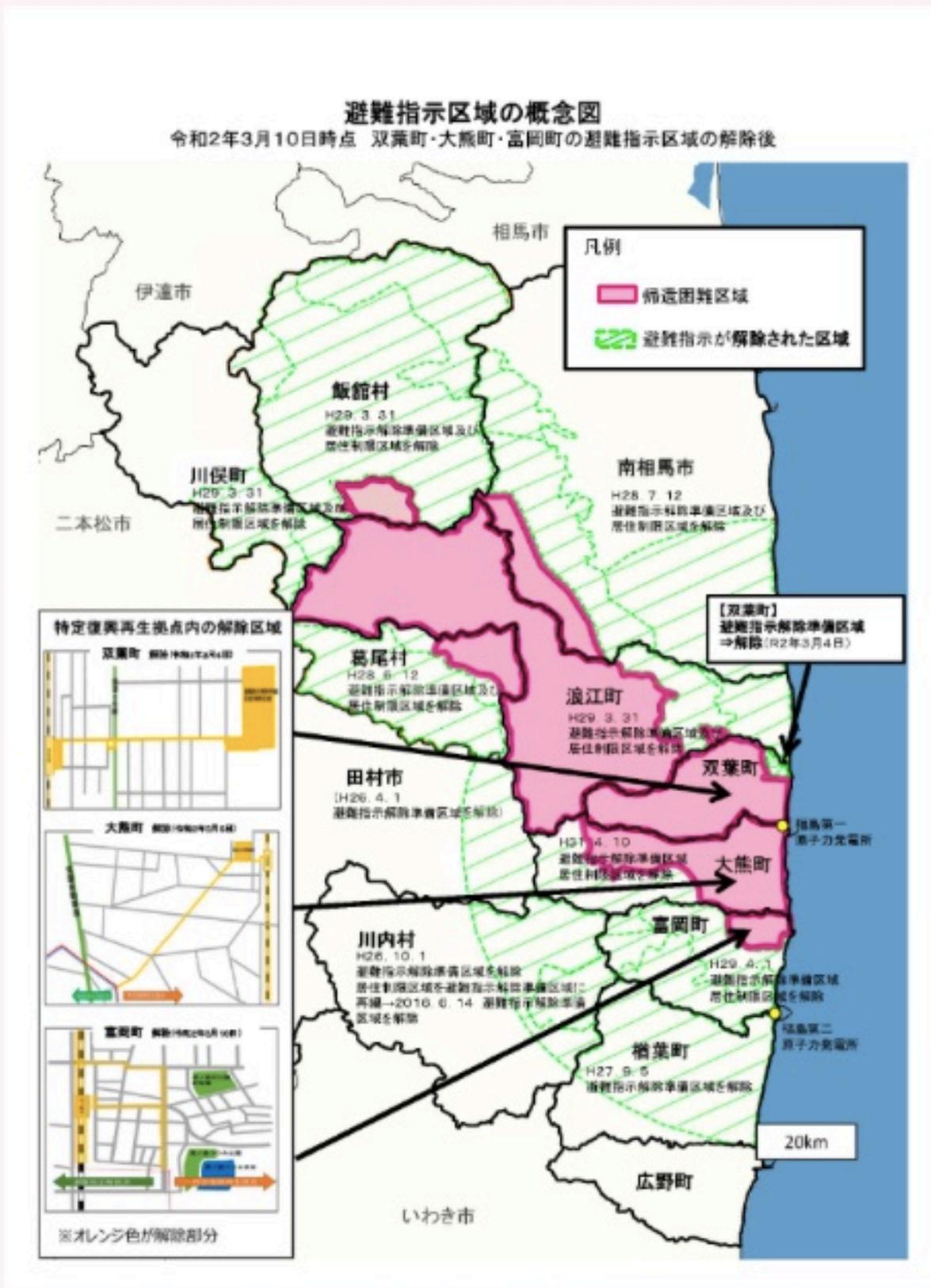
谷咲月さん(大熊町)
もーもーガーデン by ふ
るさとと心を守る会

浪江町
Namie



和泉亘さん(浪江町)
なみえファーム
浜のあきんど

避難区域の状況(令和2年3月10日時点)



出典：経済産業省作成の資料をもとに福島県が加工したもの

<避難の状況>

県内避難者数 (2020/11/30 現在) 7,439 人

県外避難者数 (2020/11/11 現在) 29,359 人

※福島県災害対策本部資料より抜粋